

令和4年度舟形町社会福祉協議会事業報告

1. 法人運営事業

(1) 運営会議の開催

①理事会の開催

令和4年

定例第2回 5月24日

令和3年度事業報告、決算、評議員候補者の推薦

臨時第2回 9月29日

今後の事業について

臨時第3回 12月21日

予算補正、職員給与規程の一部改正、保育職員給与規程の一部改正、保育臨時職員等就業規則の一部改正、経理規程の一部改正、災害ボランティアセンターについて、理事候補者について

令和5年

定例第1回 3月20日

役員の選任、予算補正、評議員候補者の推薦、保育職員給与規程の一部改正、職員給与規程の一部改正、令和4年度事業計画、予算、保育園長の選任、保育臨時職員等就業規則の一部改正

②評議員会の開催

令和4年

定例第2回 6月22日

令和3年度事業報告、決算

令和5年

定例第1回 3月29日

予算補正、令和4年度事業計画、予算

③監事会の開催

5月12日

令和3年度会計監査

12月1日

令和4年度中間会計監査

④評議員選任・解任委員会の開催

6月7日

評議員欠員における新評議員の選任について

3月22日

評議員欠員における新評議員の選任について

(2) 主な会議、研修等

○県社協事務局長会議（4月21日 山形市）

○県社協評議員会（6月21日、3月27日 山形市）

○保育園指導監査（10月20日 保育園）

○県社協ヒアリング（10月21日 清流荘）

○市町村社協会長会議（11月1日 新庄市）

(3) その他

○ホームページ更新

○マメール活用（保育園保護者に緊急連絡や行事案内等をメールで一斉配信）

2. 生活支援事業

(1) 貸付援助事業

①生活福祉資金貸付事業

県社協が、高齢者・低所得世帯の経済的自立と生活意欲の助長・社会参加促進を目的とする貸付事業。

- ・年度内貸付者数：1名（コロナ特例資金）
 - ・年度末貸付者数：13名（小口資金3名 教育資金5名、コロナ特例資金5名）
- ※所得税非課税世帯によるコロナ特例資金償還免除者1名

②たすけあい金庫事業

町社協独自の貸付で50,000円まで。一時的なつなぎ資金の小口貸付事業。

- ・年度内貸付者数：4名
- ・年度末貸付者数：8名（残高268,000）

(2) 日常生活支援事業

①行旅人援助活動 行旅人への援助は1回300円。援助者数：2名

②高齢者世帯等除雪支援事業

高齢者、障がい者、低所得世帯を対象とした除雪援助事業。

近隣等の除雪協力者が最低限の避難口確保と家屋破損がない程度の除雪活動を町担当課と共同で実施。

・活動内容

玄関等：1回800円の助成(除雪車稼働日のみ支給。1日2回限度)

屋根等：1回12,000円の助成(年6回限度)

重機：60,000円限度で助成、利用者1割負担(町が必要と認めた世帯)

費用：町負担

	R 3		R 4	
申請者数	131名		108名	
玄関前	2,584回	2,067,200円	2,029回	1,623,200円
屋根	257	3,098,500	251	3,108,850
重機	32	1,478,000	28	1,437,725
合計	2,873	6,643,700	2,308	6,169,775

- ・除雪に関する相談18件

③福祉ヤクルト見守り事業

75歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、ヤクルトを週2回配達し、孤立しがちな高齢者の見守り活動を行う事業を実施。年度末時点の利用者28名。

④福祉サービス利用援助事業

高齢世帯や障がい者世帯で判断能力が不十分な方で日常生活が困難な場合に支払いや手続きの代行援助を行う事業を実施。

※R4サービス利用者無し。

⑤主な会議、研修等

○特例貸付事務担当者研修会（12月7日、1月18日 リモート）

○生活困窮者自立支援会議（1月30日 役場）

○生活福祉資金ヒアリング（2月7日 清流荘）

3. 地域福祉事業

(1) 相談事業

①ふれあい総合相談所

弁護士が定期的に相談を受け、困りごとの早期解決を図ることを目的とした事業。

- ・開催日時：奇数月の第4水曜日（6回）13：30～15：30
- ・開催場所：清流荘
- ・弁護士：新庄ひまわり基金法律事務所 浅沼敬弁護士
- ・相談件数：15件（土地7、相続4、離婚2、住宅1、生業1）
- ・弁護士への相談費用：年120,000（社協60,000、自殺予防対策費として町より40,000、県社協20,000）

②高齢者総合相談センター移動法律相談所

県社協が主催で弁護士による相談所を開設

開催日時：11月30日 10：00～15：00 清流荘

(2) 福祉ボランティア推進事業

○障がい者セミナー 障がい者理解を目的とした学習活動。（舟形中学校1年生）

- ・11月9日 車椅子講習会
内容：車椅子の構造や介助について
講師：東北福祉大学 高橋俊史氏
- ・1月11日 視覚障がい者講習会
内容：視覚障がい者と盲導犬について
講師：日本盲導犬協会仙台訓練所

(3) 高齢者等生きがい事業

高齢者の相互交流と健康づくりを目的に実施。

○高齢者グラウンドゴルフ交流大会

- ・開催日：10月27日
- ・開催場所：若あゆ温泉
- ・参加人数：50名

(4) 主な会議、研修等

- 障がい者計画策定委員会（8月18日、11月7日 役場）
- 地域福祉ボランティア会議（11月16日 山形市）
- 山形県県民福祉大会（11月21日、新庄市、民生委員参加）
- 災害ボランティア研修（11月22日 大江町）
- ボランティア担当者ネットワーク会議（11月30日 山形市）
- 地域支え合い推進協議会（1月31日 役場）

(5) その他

- 町敬老事業への協力
- 各団体でのグラウンドゴルフ大会、ワナゲ大会への協力
 - ・デンタル美光杯（6月27日 若あゆ温泉 61名）
 - ・山新舟形専売所杯（7月27日 若あゆ温泉 54名）
 - ・舟形マッシュルーム杯（9月16日 若あゆ温泉 56名）
 - ・長沢地区グラウンドゴルフ大会（10月13日 若あゆ温泉 61名）
 - ・長沢地区ワナゲ大会（1月22日 生涯学習センター 50名）
- 各種相談受付

4. 共同募金事業

(1) 老人福祉活動事業

①配食サービス事業

- ・対象者 一人暮らし高齢者、高齢者、障がい者のみ世帯等要援護者世帯
- ・利用料 1食 300円
- ・実施日等 毎週木曜日の夕方
- ・利用登録者 30名（年度末時点）
- ・調理協力者 32名（8班）
- ・実施回数 33回 ※7～9月、祝日、年末年始は休み。
- ・提供食数 551食
- ・配食サービス役員会（9月29日 てとて）

②健康マージャン交流会

- ・開催数：22回
- ・参加延べ人数：384名
- ※上期優勝者 佐藤勝信（舟形4） 下期優勝者 星川 基（舟形3）

③初心者マージャン教室

- ・毎週木曜日（百歳体操終了後）

(2) 児童、青少年福祉活動事業

児童遊具設置事業

- ・福寿野町内の公園にブランコを設置
- 設置費用：225,000円（町内会1割負担）

(3) 福祉育成、援助活動事業

機関誌ふくしだより発行

社協、保育園の事業紹介や情報開示を目的に年度2回（9月、3月）発行。

(4) 歳末たすけあい配分事業

民生児童委員協議会の協力のもと、生活困窮世帯を対象に歳末募金から一定額を配分し生活援助活動を実施。

- ・配分委員会：12月20日
 - ・援助世帯：21世帯29名
 - ・援助額：1世帯10,000円（商品券）＋世帯員数×5,000円（現金）
- 援助総額 335,000円

5. ほほえみ保育園運営事業

1. 園児の状況について（年度末現在）

年齢区分		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
園児数	令3	2	15	9	19	31	30	106名
	令4	5	11	18	20	20	31	105名
	令5	7	10	16	23	20	20	96名

2. 主な事業について

(1) 職員研修

- 国関係 日本保育協会オンラインセミナー（1名）
 保育所等での園児への不適切なかかわり方が報道され厚生労働省より実態調査が実施されました。こうした流れを踏まえて、保育施設の適切な保育継続に資するためのオンライン研修。
 厚生労働省の実態調査をもとに不適切なかかわり方が行われていないか確認しあった。
- 県関係 山形県保育協議会公開保育研究会（10名）
 今年度は戸沢村が会場になっており、近年、重要視されている保育現場における「遊びを通じた学び」について、戸沢村で取り組んでいる保育園から義務教育学校（戸沢学園）への切れ目のない一貫教育推進に向けた実践を通して、これからの保育に期待されることについて学ぶ。
- 関係機関 幼保小接続のための研修（2名）
 園主催 保育アドバイザーによる保育環境の点検と保育士研修会4日間（全保育職員）、
 臨床心理士による心の相談会（全職員）
 聞こえにハンディのある子どもに関する研修会（2名）

(2) 関係機関との連携

- スクールカウンセラー巡回指導：笹原英子SC7回（年少以上の園児の状況について）
 特別支援教育巡回指導：山大大学院三浦光哉教授2回（年少以上全園児のスクリーニング）
 保健師と連携：検診による園児の健康管理、発達障がい等の早期発見・早期療育
 保小連携会議：年3回会議と情報交換、園児と児童との交流、教諭の保育士体験

(3) 保育の主な内容について

- ①新型コロナウイルス感染拡大防止と保育活動
- ・運動会、発表会は参加者の人数制限や時間短縮などにより予定通り実施
 運動会直前にコロナが拡大し、年少組は当日参加せず、後日園児と担任だけで行いました。
 - ・8/10 希望保育（登園自粛）、8/22～23 希望保育（登園自粛）
 9/2～7 希望保育（登園自粛）

②運動あそび自然体験活動の推進

- ・ 鮭川村スポーツインストラクター伊藤淳子氏による、感覚運動遊び：0歳児以上月1回
- ・ 山形県サッカー協会巡回指導（年中・年長児）、
- ・ 舟形町スポ少Tボール講習会（年長児）
- ・ 自然に触れる体験活動：プール遊び、昆虫採集と飼育、畑と食育活動、散歩、雪遊び等

③その他

読み聞かせ活動、ALTの英語であそぼう（年少中長児）、かもしかクラブによる安全教室ほか

(4) 保護者支援について

- ・ 家庭教育講座：年少児保護者対象 10月14日
国際臨床保育研究所 勝山結夢
「この先（VUCA時代）を生き抜く力とは？」
VUCAとは⇒目まぐるしく変化する時代
予測不能な時代⇒教育環境が子どもたちの成長を促す
人は、ぼーっとしている時や人と話をしている時
↓
脳が一番忙しい
↓
この時がひらめく瞬間
子どもが何かに入り込んでいる時は、声をかけない
言葉をかけるときは「今話しかけるべきか」考える
解答者にならず応答者になることが大事
- ・ 保護者面談：年少・年中児保護者対象 1月23日～27日

(5) 来年度に向けて（課題等について）

- ・ 入園式の持ち方
- ・ 運動会を保育園の園庭で開催したい
- ・ 土曜保育の給食の提供

6. 清流荘管理事業

清流荘使用状況

- 使用団体数 12 団体
- 使用延べ人数 3,188 名

7. 各団体の主な活動内容

(1) 日赤舟形町分会

- 献血事業 町内献血開催回数 4 回 (7 箇所)
- 物故会員へ供物配布 54 件
- 被災者援護事業 町内住宅火災等 1 件
- 県支部地区分区幹事会 (4 月 18 日、11 月 17 日 山形市)
- 県支部事務担当者会議 (4 月 20 日 山形市)

(2) 舟形町共同募金委員会

- 赤い羽根、歳末たすけあい募金運動
- 町共同募金運営委員会 (5 月 24 日 中央公民館)
- 災害時基礎研修会 (7 月 29 日 リモート)
- 市町村共同募金委員会事務局長会議 (9 月 2 日、2 月 24 日 リモート)
- 歳末配分委員会 (12 月 20 日 中央公民館)

(3) 舟形町老人クラブ連合会

- 県老人福祉大会運営委員会 (5 月 11 日、8 月 3 日 新庄市)
- 最上地区連絡協議会監事会 (5 月 31 日 真室川町)
- 町連合会役員会 (6 月 1 日、9 月 27 日、1 月 16 日 清流荘)
- 最上地区連絡協議会総会 (舟形町事務局 書面)
- 町単位会長会議 (6 月 20 日 清流荘)
- 県老連総会 (6 月 21 日 山形市)
- 町連合会グランドゴルフ交流大会 (10 月 27 日 若あゆ温泉)
- 市町村会長、女性委員、事務担当者研修会 (11 月 16 日 新庄市)
- 町単位会長・女性委員研修会 (12 月 22 日 若あゆ温泉)
- 最上地区リーダー研修会 (舟形町事務局 1 月 25 日 舟形町)
- 高齢者地域支え合い研修会 (3 月 1 日 山形市)
- 単位クラブ行事等への協力

(4) 舟形町身体障がい者福祉協会

- 最上地区連絡協議会 (5 月 20 日、6 月 8 日、10 月 6 日 真室川町)
- 最上地区相談員研修会 (6 月 8 日 真室川町)
- 山形県身体障がい者福祉大会 (7 月 29 日 長井市)
- 友愛訪問 (11 月 町内)
- その他会議等出席

(5) 舟形町手をつなぐ育成会

- 最上地区役員会 (4 月 20 日 新庄市)
- 県総会 (5 月 20 日 山形市)
- 最上地区総会 (6 月 5 日 新庄市)